

東日本ユニオンにいがた

http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2018年5月10日発行

第26号 (通巻第90号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

新たな仲間が続々加入!
系統、年代問わず各地で



労働者の利益を守るために
共にがんばろう!

お花見の醍醐味といえ
ば「花より団子」ならぬ「花
よりお酒」。屋外で昼間
から酒を飲む事です。お昼
からお酒を飲む事に抵抗
感がある方もいらっしや
るでしょうが、晴天のもと
での昼桜と昼酒は、やはり
格別の味わいでした。
お花見にはゲストとし

増収増益！ 期末決算は過去最高！

夏季手当交渉に向けてJR労働者の力を結集しよう！

JR東日本は4月27日
に、2017年度期末決算
を発表しました。これによ
ると単体、連結ともに増収
増益となりました。
単体では、北海道新幹線
の開業効果が落ち着いた
とする一方でインバウン
ド効果や基礎収入の増に
より、営業収益・運輸収入
が6期連続の増収となる
とともに過去最高を実現
しました。
また、営業利益、経常利
益とも増益となったのに
加え、当期純利益は過去最
高となりました。
連結も営業収益が6期
連続の増収かつ過去最高
に、経常利益・親会社株主
に帰属する当期純利益も
過去最高となりました。
セグメント別では4項
目すべてが増収増益とな
り、極めて好調な業績とな
りました。
単体・連結決算ともに2
017年4月に発表した
業績予想を大きく超える
結果を実現しました。
少子高齢化や生産年齢

**JR東日本(単体)
2017年度期末決算**

- 営業収益 20,932億円 (対前年 1.2%増)
- 営業利益 3,951億円 (対前年 1.7%増)
- 経常利益 3,589億円 (対前年 5.1%増)
- 当期純利益 2,470億円 (対前年 1.5%増)

人口の減少など、取り巻く
環境や構造の変化の中で
過去最高の業績を実現し
た原動力は、相次ぐ効率化
た原動力は、相次ぐ効率化

お花見日和の 青空のもと 花よりお酒!?

酒田支部お花見レク

4月20日、酒田支部の春
のレクリエーションとし
てお花見レクを開催しま
した。当日は快晴でポカポ
カ陽気と天候にも大変恵
まれ、桜も見頃で満開!!と
いう、絶好のお花見日和で
した。
お花見の醍醐味といえ
ば「花より団子」ならぬ「花
よりお酒」。屋外で昼間
から酒を飲む事です。お昼
からお酒を飲む事に抵抗
感がある方もいらっしや
るでしょうが、晴天のもと
での昼桜と昼酒は、やはり
格別の味わいでした。
お花見にはゲストとし



(酒田支部 投稿)

て、先日新津運輸区へ転出
された組合員からも参加
して頂き、お互いの日頃の
労をねぎらい、組合員同士
で交流と親睦を深める事
が出来ました。
準備やオードブルの用意
など組合員の皆さんから
協力をしていただきま
した。来年度も盛大に開催
していきましょう!!
(酒田支部 投稿)

酒田支部は3月8日に、
第9回定期総会を開催し
ました。
佐藤執行委員長は挨拶
で豪雪により発生した冬
期輸送問題、昨今の情勢や
春闘、びゅうプラザ鶴岡駅
の廃止、エルダー社員制度
などの課題を述べ「日々発
生する全ての問題に対し
て所属する組合員のため
に解決に向けて取り組む。
人を思いやり、組合員のみ
ならず同じJRで働く仲間
の事も思い、支部として
運動を創り出し、全組合員
で力を合わせ前に進んで
行こう」と訴えました。
地本の粉川執行副委員
長からは春闘情勢や労働
組合へ掛けられている攻
撃について語られ「労働者
の利益を守る事が労働組
合の本分。これまで通りに
団体交渉による問題解決
を通じて組織強化を図る。
私たちの労働運動を職場
から推し進めて行こう」と



(酒田支部 投稿)

て、過去最高の夏季手当を
勝ちとるためには労働組
合に力が必要です。JRで
働く労働者の結集が力と
なります。
私たちの手で実現させ
た過去最高の利益を、私
たち社員一人ひとりに還元
させるため、JR労働者の
力を東日本ユニオンに結
集させましょう。

挨拶がありました。
質疑では、参加組合員全
員から発言を受けました。
エルダー社員制度に対
しては、会社の提示スケジ
ュールの遅れやグループ
外企業の労働環境、賃金は
約半額になる中で今まで
と同じ仕事を担うことに
なる本体エルダー等の問
題が挙げられました。
また、3件の客室窓ガラ
ス破損発生や、凍結のため
全部のトイレを使用停止
としたまま運用したE6
53系車両の問題をはじ
め、今冬期に発生した様々
な事象や問題、運行優先の
会社体質を指摘する声な
どがあがりました。
さらに「中堅の乗務員の
異動には安全・事故防止や
後輩の指導・技術継承に不
安要素がある」「休憩室に
防犯の名目でカメラが設
置される事で乗務員は常
態だ」「車掌の労働実態・基

本動作の確認調査として、
いわゆる裏面監査のよう
な事が行われると聞いて
いる。会社側の労務管理の
強化を感じる」など、支
側の姿勢に対する疑問や、
互いに連携を取った今後
の支部運動のあり方につ
いてなど、多岐に渡る発言
がありました。
最後に佐藤書記長の集
約答弁、佐藤執行委員長の
団結ガンパローで酒田支
部第9回定期総会は成功
裡に終了しました。
懇親会では、酒田支部の
春闘の取組みとして募集
した支部春闘スローガン
の表彰を行いました。
(酒田支部 投稿)

全組合員で力をあわせ前進しよう 酒田支部第9回定期総会

JR東日本(単体)期末決算推移

